

講義名	レクリエーション実践演習		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	北村 裕美		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	33030

主題と概要

本演習では、レクリエーション支援の目的にあった素材の選択やその展開法について理解を深める。また、地域レクリエーション協会などで展開されるレクリエーション事業への参加を通して、レクリエーション事業の企画・運営を体験し、地域をはじめ、社会福祉現場学校、健康産業などの幅広い領域で活動しうるレクリエーション支援者としての資質向上を図る。

到達目標

自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション支援活動の展開方法を身につける。
対象者と活動現場を想定したレクリエーション支援ができるようになる。

提出課題

レクリエーション指導案、事業計画書、振り返りレポート

評価の基準

授業中の取組状況（授業態度や指導技術、グループワークへの積極性など）・・・80%
提出物・・・20%

履修にあたっての注意・助言他

「レクリエーション論」の単位修得後に履修することが望ましい。
運動着や体育館シューズ、筆記用具を持ってくること。
2018年10月27日（土）午前、12月15日（土）午後に行われるレクリエーションイベントに必ず参加すること。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

参考図書・・・「楽しいアイスブレーキングゲーム集」
プリント資料・・・必要に応じて配布する。

授業計画

1. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
2. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
3. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
4. プログラムの実施と評価及び改善
5. プログラムの実施と評価及び改善
6. プログラムの実施と評価及び改善
7. プログラムの実施と評価及び改善
8. プログラムの実施と評価及び改善
9. プログラムの実施と評価及び改善
10. 対象者の把握とレクリエーション事業の計画
11. レクリエーション支援の準備
12. レクリエーション支援の準備
13. レクリエーション支援の実施
14. レクリエーション支援の実施
15. レクリエーション支援の評価

予習・復習

予習：レクリエーション活動に関するニュースに関心を持つこと。
復習：レクリエーション活動の展開方法を記録すること。

備考

健康マネジメントコース所属学生履修推奨科目
レクリエーション・インストラクター資格関連科目